

令和5年度

教職課程

自己点検評価報告書

中国短期大学

令和6年3月

中国短期大学 教職課程認定学科(免許校種)

- ・保育学科：幼稚園教諭二種免許状

短期大学としての全体評価

中国短期大学は、総合生活学科、保育学科、情報ビジネス学科の3学科から構成されている。本学の使命、目的及び教育目的は学則に明文化しているが、社会情勢に対応するため、見直しを行ってきた。グローバル化、多様化する現代社会を生き延びるには確固たる価値観を有し自律することが最善であると考え、平成30(2018)年には教学の理念として「自律創世」を定めた。この理念のもと、「知識・情操・意思」をバランスよく備え、豊かな人間性と専門知識を身につけた人材を養成することとしている。また、地域との連携を取りながら社会に役立つ人材を育成することに加え、常に自ら考え行動できる人材の育成を目指している。

この本学の使命、目的及び教育目的を達成するため、保育学科では、幼稚園教諭及び保育教諭(以下、幼稚園教諭等)として次世代を担う幼児及び園児(以下、幼児等)を教え導くことのできる教員養成に取り組んでいる。

保育学科の教育課程における所定の教職科目の履修及び教育実習の実施により取得できる教員免許状は、幼稚園教諭二種免許状となっている。

教員養成に当たっては、教職課程科目担当教員が計画的に知識・技能及び教員としての資質の醸成を図るとともに、地域の幼稚園及びこども園と連携して実習指導を行っている。また、事前指導、事後指導、巡回指導等を通して学生の支援と実習内容の定着を図っている。カリキュラムや講師の任免に関しては、中国短期大学教授会のもと教務委員会が当たり、教育実習や学外ボランティア、免許取得の手続き等に関しては、各学部、各学科の委員により組織される教職課程委員会が検討及び見直しを行うとともに、中国学園職員が事務に当たり、双方で連携しながら学生支援に当たっている。

教員免許状の取得者の内、教職(保育職も含む)に就く者は毎年8割を超えていることから教職課程を有する短期大学としての役割は果たせていると考える。今後、更に教職課程の指導の充実を図り、質の高い教員養成に努めてまいりたい。

中国短期大学

学長 千葉喬三

目 次

I	教職課程の現況及び特色	1
II	基準領域ごとの教職課程自己点検評価	2
	基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な 取り組み	2
	基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援	5
	基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム	7
III	総合評価	9
IV	「教職課程自己点検・評価報告書」作成プロセス	10
V	現況基礎データ一覧	11

I 教職課程の現況及び特色

1 現況

(1) 大学名：中国短期大学

(2) 学科名：保育学科

(3) 所在地：岡山市北区庭瀬 8 3 番地

(4) 学生数及び教員数

学生数：(令和 5 年 5 月 1 日現在) 保育学科 在籍数 171 名

教員数：(令和 5 年 5 月 1 日現在) 教職課程科目担当 10 名／全体 10 名

2 特色

<中国短期大学の教員養成についての理念と目標>

中国短期大学は、教育基本法及び学校教育法の規定及び本学園の「自律創世」の教学理念に基づき、深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成することを目的としている。各学科では本学の目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーに掲げた「知識・理解」「思考・問題解決能力」「技能」「態度」の 4 観点で示された学士力を養成するため、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを策定している。

教職課程としては、保育学科が幼稚園教諭二種免許状取得課程認定を受けている。

【保育学科】

(幼稚園教諭二種免許状)

保育学科は、乳幼児の保育・教育の教育研究を通じ、専門知識ならびに技能の習得を図り、保育・教育現場において、一人ひとりの乳幼児にあわせた指導のできる保育者（幼稚園教諭、保育教諭、保育士）として寄与できる人材の育成を目的としている。

保育学科は、保育者として必要な幅広い知識と技術、豊かな人間性、保育を取り巻く環境の変化やよりよい保育活動をしていくうえでの課題について主体的に解決できる力、態度を涵養することを目標としている。

この教育目標に基づいて、教員養成の目標を次のように掲げている。

幼稚園教諭二種免許状に関して、幼稚園教諭等としての教育に関する学識と技術を身につけるとともに、幼児等の保育に関する教養と技術を身につけた教員の養成を目指している。

II 基準領域ごとの教職課程自己点検・評価

■基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

基準項目 1-1 教職課程教育の目的・目標の共有

[現状]

教職課程教育の目的・目標を、「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」（資料 1-1-1）等を踏まえて設定し、育成を目指す教師像とともに「中国短期大学ディプロマ・ポリシー」として学生に周知している（資料 1-1-2）。

育成を目指す教師像の実現に向けて、関係教職員が「中国短期大学教職課程委員会」を定期的に開催し、教職課程の目的・目標を共有し、教職課程教育を計画的に実施している。

[優れた取り組み]

教職課程教育を通して育もうとする学修成果（ラーニング・アウトカム）を、「卒業認定・学位授与の方針」を踏まえて「中国短期大学ディプロマ・ポリシー」として具体的に示し、可視化を図っている（資料 1-1-2）。また、本学のディプロマ・ポリシーとして Web 上に公開するとともに、教職課程委員会を定期的に開催し、各学部の指導計画・指導内容を共有するとともに、適正な指導が行われているか点検し、振り返りを行っている。

[改善の方向性・課題]

教職課程担当教員を複数配置するとともに、保育学科実習委員会の委員とともに、より綿密な情報共有を行い、協働的に学生指導に当たるよう努める。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 1-1-1：「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）及び「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン（平成 28 年 3 月 31 日 大学教育部会）

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1369248.htm

- ・資料 1-1-2：中国短期大学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

<https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab3>

基準項目 1-2 教職課程に関する組織的工夫

[現状]

教職課程認定基準を踏まえた教員を適切に配置し（資料 1-2-1）、研究者教員と実務家教員及び事務職員との協働体制を構築している（資料 1-2-2）。教職課程の運営に関して中国短期大学教職課程委員会と保育学科の教職課程担当者として適切な役割分担を図っている。

教職課程教育を行う上での施設・設備が整備され、ICT教育環境の適切な利用が可能となっている。また、教員養成に係る組織及び教員の業績等の状況については、中国学園大学・短期大学ホームページにおいて、適宜、情報公開している（資料 1-2-1、資料 1-2-2、資料 1-2-3、資料 1-2-4）。

[優れた取り組み]

教職課程の質的向上のために、「中国短期大学ファカルティ・ディベロップメント委員会」並びに、「中国短期大学スタッフ・ディベロップメント委員会」が中心となって、授業評価アンケートの活用を始め、FD（授業・カリキュラム改善、教育・学生支援体制の整備等）やSD（教職員の能力開発）の取り組みを積極的に展開している。

中国短期大学教職課程委員会と保育学科教職課程担当者との連携し、教職課程の改善を目的とした自己点検評価を行うことで、組織的に機能させる取組を行っている。

教員相互の授業参観を年に2回（前・後期各1回）、それぞれ2週間の授業公開期間を設けている。この期間、原則として本学全教員の授業が公開される。教員は空いている時間に自由に他の教員の授業を見学できる。互いに授業を参観し、感想や問題点についてレポートしている。授業方法の改善等についてのFD研修会を、学内教員または外部講師により、授業改善・カリキュラム改善等の研修会として年2～3回実施している。

授業評価アンケートを各期実施している。学生は科目ごとに提示されたQRコードを携帯電話等を使い、読み取ることでアンケートページにアクセスすることができ、回答するアンケート情報が表示された画面に沿って入力する。自由記述欄も設け、学生の意見を聴取している。その後回答データを処理し、各学部長への評価結果共有及び各教員にフィードバックすることで授業改善及び指導力向上に努めている。

前年度に卒業した学生に対し、8月末頃オンライン回答方式で授業、資格等について卒業生アンケートを実施している。

[改善の方向性・課題]

保育学科の教職課程担当教員間での情報共有のみならず、教育委員会との連携も不可欠であるため、教職課程委員会において情報共有を綿密に行う必要がある。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 1-2-1：教員養成に係る教員及び授業科目に関すること

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/04/4bf06d8a68f4c7844afedc9870b3b>

1d8.pdf

- ・資料 1 - 2 - 2 : 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

教員養成に係る組織及び教員の数

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/e9feb7f5087d94642278cfcc4c76ecca.pdf>

中国短期大学 各教員が有する学位及び業績

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/e71c5501935831524be4f262e56353b5.pdf>

- ・資料 1 - 2 - 3 : 教育研究上の基本組織に関すること

中国学園 組織図

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/07/354b95064b86072603cf2a11fdcaaa01.pdf>

中国学園 事務組織図

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/11/58778a71f7cfeee309e2367b14386fa2.pdf>

- ・資料 1 - 2 - 4 : 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること
専任教員数:

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/e9feb7f5087d94642278cfcc4c76ecca.pdf>

教員一人あたりの学生数

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/648c0d24a45227a2e7d4838d07e7192e.pdf>

各教員の研究業績一覧 中国短期大学

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/e71c5501935831524be4f262e56353b5.pdf>

■基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援

基準項目 2-1 教職を担うべき適切な人材（学生）の確保・育成

[現状]

当該教職課程で学ぶにふさわしい学生像を「入学者受入れの方針」等を踏まえて、「中国短期大学アドミッション・ポリシー」として具体的に示し、学生の募集や選考及びガイダンス等を実施している（資料 2-1-1）。

「教育課程編成・実施の方針」等を踏まえて、教職を担うにふさわしい学生が教職課程の履修を開始・継続するための基準（実習科目を履修登録できる条件を設定する等）を設定している。

「卒業認定・学位授与の方針」も踏まえて、当該教職課程に即した適切な規模の履修学生を受け入れている。

[優れた取り組み]

保育学科の教職課程担当及び「保育・教職実践演習（幼稚園）」の科目担当教員が中心となって「履修カルテ」を活用する等、学生の適性或資質に応じた教職指導、個別指導を行っている。

また、「教育実習指導」の講座を用いて、1 年生を含めた実習報告会を実施し、振り返り、ディスカッションを行っている。加えて、教育実習事後指導として、実習内容についての聞き取り、自己評価と園からの評価とのすり合わせ等の個別面談を行っている。

[改善の方向性・課題]

保育学科では幼稚園教諭二種免許状とともに保育士資格が取得できることを PR して学生確保に努めているが、より高校生に認識され進学先として選ばれるように学生募集の工夫が必要である。加えて、上級免許である幼稚園教諭一種免許状取得に向けて、大学に 3 年次編入することによって取得が可能であることを学生に周知し、中国学園大学と連携しながら専門性の高い教員の養成を進めていく必要がある。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 2-1-1：中国短期大学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

<https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab>

基準項目 2-2 教職へのキャリア支援

[現状]

学生の教職に就こうとする意欲や適性を把握するために、クラス担任が各期で個別面談を行っている。実習担当教員及び就職担当教員とも連携をとりながら、学生の教職（保育職）

に就こうとする意欲や適性の把握とともに、進路指導も実施している。

就職支援課（就職支援センター）を中心として、学生のニーズや適性の把握に基づいた適切なキャリア支援を組織的に行っている。

就職支援課（就職支援センター）と連携し、学部の教職課程担当者は、教職に就くための各種情報を提供している。また、本学園内での連携や県や市の教育委員会とも連携をとっている。

[優れた取り組み]

中国学園大学・短期大学教職課程委員会と教職課程担当教員が協力し、教員採用試験対策セミナーの実施等、免許状取得件数、教員就職率を高める工夫をしている（資料2-2-1）。

キャリア支援を充実させる観点から、教職に就いている卒業生や地域の多様な人材等との連携を図っている。また、中国学園大学・中国短期大学附属「たねのくにこども園」を見学したり、演習を行ったりするなど学園内で連携をとっている。

[改善の方向性・課題]

教育現場への就職率について、保育学科では、幼稚園・認定子ども園・保育所等の就学前教育現場へ就職する学生が8割である。（資料2-2-2）。

一方で、保育所実習を終えた学生の中には、保育所実習での負担感や様々な事情から、幼稚園教諭免許状を不要として実習を辞退する学生も一定数いる（令和5年度は5名）。幼稚園数の低下や認定こども園の増加に加えて、就学前教育施設全体の淘汰により、幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方を取得している人材が今後一層求められる。このことを踏まえ、実習中の学生への支援体制を整備していくとともに、実習事後指導の充実を図る必要がある。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料2-2-1：卒業生の教員免許状の取得状況に関すること

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/04/8202ea590244ae88fd8df63b28b94e96.pdf>

- ・資料2-2-2：卒業生の教員への就職の状況に関すること

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/09/af5a14473598d2702b15fdccdc41a45a.pdf>

■基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

[現状]

教職課程科目に限らず、卒業までに修得すべき単位を有効活用して、教職課程教育を行っている。学科等の目的を踏まえ、教職課程科目相互とそれ以外の学科科目等との系統性の確保を図りながら、コアカリキュラムに対応する教職課程カリキュラムを編成している。教職課程カリキュラムの編成・実施にあたり、教員育成指標を踏まえる等、今日の学校教育に対応する内容上の工夫がなされている（資料3-1-1）。

今日の学校におけるICT機器を活用し、情報活用能力を育てる教育への対応が充分可能となるように、情報機器に関する科目や教科指導法に関する科目等を中心に適切な指導が行われている。

教職課程科目はもちろん、すべての科目のシラバスにおいて、各科目の学修内容や評価方法を学生に明確に示している（資料3-1-2）。教育実習を行う上で必要な履修要件を設定し、教育実習を実りあるものとするよう指導を行っている。

[優れた取り組み]

優れた教員・保育者になるための専門的な知識・技能を身につけるため、アクティブ・ラーニング（「主体的・対話的で深い学び」）やグループワークを促す工夫により、課題発見や課題解決等の力量を育成している（資料3-1-3）。

「履修カルテ」等を用いて、学生の学修状況に応じたきめ細かな教職指導を行い、「保育・教職実践演習」の指導にこの蓄積を活かしている。

[改善の方向性・課題]

適切な教育方針とシラバスに基づいて教職課程科目の指導を行っているが、年々学校教育を取り巻く喫緊の課題は変化するため、それらに対応できる教員養成ができるよう、常に教授内容の見直しと改善を行い、教授方法の工夫を行う必要がある。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料3-1-1：中国短期大学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
<https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab2>
- ・資料3-1-2：中国短期大学 教員の養成に係る授業科目のシラバス
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/09/8c3e39f900491e2b5fbca6ec7260a741.pdf>
- ・資料3-1-3：教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること
https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/kyouin_yousei04.pdf

基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携

[現状]

実践的指導力を育成する機会として、学内外の様々なボランティア活動を計画し、その振り返りの機会を設けている。

地域の幼児等の実態や幼稚園・こども園・保育所等の就学前教育施設における幼児教育・保育の状況について学生が理解する機会を設けている。

[優れた取り組み]

就職支援課（就職支援センター）と協力しながら、教育委員会等との組織的な連携協力体制の構築を図っている。ボランティア活動等を通して幅広い視野の持てる教育を行っており、実際の幼児教育・保育現場での学びを深める指導を行っている。

地域の幼稚園、こども園、保育所、公民館等と連携し、「保育者基礎演習」「親子ふれあい演習」などの専門領域の科目に、園や保育の見学、親子と触れ合う体験などを積極的に取り入れ、学生の自発性と実践力を高める指導を行っている（資料3-2-1）。

また、教職課程委員会並びに保育学科は、教育実習協力園と教育実習の充実を図るために連携を図っている。

[改善の方向性・課題]

実践的な指導力を育成するためには、教育委員会・就学前教育施設との連携が欠かせないため、今後も良好な連携関係を保てるよう、教育実習時の訪問指導等を通して、関係づくりに努める。また、教育実習や参観訪問時に少しでも多くのことを吸収して帰れるように事前指導する必要がある。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料3-2-1：教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/kyouin_yousei04.pdf

Ⅲ 総合評価

基準領域1「教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み」においては、本学の教職課程教育の目的・目標を、「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」等を踏まえて設定し、育成を目指す教師像とともに「中国短期大学ディプロマ・ポリシー」としてHPや大学案内等の印刷物により情報公開している。また、教職課程の実施においては、教職課程認定基準を踏まえた教員を適切に配置し、関係教職員が「中国学園大学・短期大学教職課程委員会」を定期的開催し、教職課程の目的・目標を共有し、研究者教員と実務家教員及び事務職員との協働体制を構築し、教職課程教育を実施している。

また、教職課程の改善を目的として教職課程委員会において自己点検評価を行うとともに、教員相互の授業参観やFD研修会を通して授業改善・カリキュラム改善に努めている。さらに授業評価アンケートにより学生からの授業評価を受けフィードバックすることで指導力向上に取り組んでおり、今後もより良い教職課程教育が実施できるよう教育改善に努めていきたい。

基準領域2「学生の確保・育成・キャリア支援」においては、当該教職課程に即した適切な規模の履修学生を受け入れ、「教育課程編成・実施の方針」等を踏まえて、教職を担うにふさわしい学生が教職課程の履修を開始・継続するための基準（実習科目を履修登録できる条件を設定する等）を設定し、教職を志望する学生それぞれの意識の涵養に努めている。

キャリア支援においては、中国学園大学・短期大学教職課程委員会と保育学科の教職課程担当教員が協力し、教員採用試験対策セミナーの実施等、免許状取得件数、教員就職率を高める工夫をしている。また、キャリア支援を充実させる観点から、教職に就いている卒業生や地域の多様な人材等との連携を図っている。これら、本学の特徴や強みを生かした活動を展開している。

保育学科では、幼稚園・認定こども園・保育所等の就学前教育現場への就職が8割を超えることを評価するとともに、今後、さらに、本学の教員養成理念の広報や学生への教育現場の理解を深めること、幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方を取得している人材育成に向けて、一層の取り組みを進めていきたい。

基準領域3「適切な教職課程カリキュラム」においては、本学の特色ある教職課程教育の促進と教職課程科目相互とそれ以外の学科科目等との系統性の確保を図りながら、今日の学校教育を取り巻く喫緊の課題に対応する内容の工夫等に取り組んでいる。さらに、教員になるための幅広い教養と専門的な知識。技能を身につけるため、アクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)やグループワークを促す工夫により、課題発見や課題解決等の力量を育成している。

また、ICT機器を活用した効果的な授業の在り方など、情報活用能力を育てる教育への対応が充分可能となるように、情報機器に関する科目や教科指導法に関する科目、教職実践演習等を中心に、教職課程全体を通じて取り組みを続けていきたい。

さらに、最新の教育動向を理解し、教育現場や社会からの要請に応え得る人材を養成するため、学内外のボランティア活動の機会を充実させていきたい。また、教育実習受け入れ園や教育委員会等との組織的な連携協力体制を更に進めていきたい。

最後に、今後も教育課程委員会及び教職課程担当教員が連携して自己点検をすることにより、本学の「教職課程教育」そのものの充実を、組織的にかつ継続的に図っていききたい。

IV 「教職課程自己点検・評価報告書」作成プロセス

教職課程担当教員を中心に作成するが、定期的に行われる教職課程委員会で教職課程実施内容を報告するとともに、教職課程委員会において点検する。

年度末に学科において教職課程科目及び教育実習の実施内容について自己点検し、各基準領域に関する現状と優れた取り組み、改善の方向性・課題をそれぞれ報告する。教職課程委員会において、報告事項を「教職課程自己点検・評価報告書」案として取りまとめる。

取りまとめた「教職課程自己点検・評価報告書」案を教職課程委員会において協議し、承認を得る。承認された「教職課程自己点検・評価報告書」案を大学内で起案し、回覧・承認を得て、学長による決裁を得る。

V 現況基礎データ一覧

令和5年5月1日現在

法人名						
大学・学部名 中国短期大学						
学科・コース名（必要な場合） 保育学科						
1 卒業生数、教員免許状取得者数、教員就職者数等						
① 昨年度卒業生数						70
② ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)						66
③ ①のうち、教員免許状取得者数の実数 (複数免許状取得者も1と数える)						63
④ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用+臨時的任用の合計数)						29
④のうち、正規採用者数						29
④のうち、臨時的任用者数						
2 教員組織						
	教授	准教授	講師	助教	その他 ()	
教員数	4	3	3			
相談員・支援員など専門職員数						

- 学校教育法施行規則第 172 条の 2 に規定する情報
https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html

1. 大学の教育研究上の目的に関すること

教学の理念

中国学園は、「自律創世」を教学の理念として掲げ、学生の精神的・道徳的・文化的・心理的・身体的発達を促進し、成人として自律し、自分の人生は自らが創ることにより社会の発展に寄与しうる人材を育成することを目指している。

沿革 https://www.cjc.ac.jp/about.html#out_line

学則 <https://www.cjc.ac.jp/about.html#regulation>

2. 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

<https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab>

3. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

<https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab2>

4. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

<https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab3>

5. 教育研究上の基本組織に関すること

中国学園 組織図

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/07/354b95064b86072603cf2a11fdcaaa01.pdf>

中国学園 事務組織図

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/11/58778a71f7cfeee309e2367b14386fa2.pdf>

6. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

専任教員数

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/11/5f1d4089b4a56b2a034beebe5831e696.pdf>

教員一人あたりの学生数

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/648c0d24a45227a2e7d4838d07e7192e.pdf>

各教員の研究業績一覧 中国短期大学

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/e71c5501935831524be4f262e56353b5.pdf>

7. 入学者数、収容定員及び在学学生数、出身県別在学学生数など
収容定員及び在学学生／入学者数
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/02/fceddf58ac9660d029b88e353b1d86cb.pdf>
出身県別在学学生数
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/b245b9dc80e2c1dcd396fc06b70db6bb.pdf>

- 8 卒業・修了者数並びに進学者数・就職者数
令和4年度 中国学園大学・中国短期大学 学位取得状況
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/699623a21077d7be663345df5a0e0780.pdf>
令和4年度 卒業・修了者数・就職者数
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/9d848835b99faa5dfb4a4718b9f067e8.pdf>

9. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること
成績評価の指標
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/07/04fc2b84fefba333133562ca750fcdd9.pdf>
卒業又は修了の認定に当たっての基準
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/b975e2de1d51f24890f5fd546af98649.pdf>

10. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること
校地、校舎の概要
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/07/34b2792c8a30f4e7715d2bc5584e3c62.pdf>
図書館 <https://www.cjc.ac.jp/facility/library.html>
学生寮 <https://www.cjc.ac.jp/campuslife/dormitory.html>
キャンパスマップ <https://www.cjc.ac.jp/campuslife/campusmap.html>
交通アクセス <https://www.cjc.ac.jp/about.html#access>

11. 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること
就職支援センター <https://www.cjc.ac.jp/career/cries.html>
特待・優待・奨学制度
<https://www.cjc.ac.jp/campuslife/scholarship.html>
保健室・学生相談室 <https://www.cjc.ac.jp/campuslife/infirmary.html>

クラブ&サークル <https://www.cjc.ac.jp/campuslife/club.html>

12. 教員養成に係る教員及び授業科目に関すること

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/04/4bf06d8a68f4c7844afedc9870b3b1d8.pdf>

13. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

教員養成に係る組織及び教員の数

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/e9feb7f5087d94642278cfcc4c76ecca.pdf>

中国短期大学 各教員が有する学位及び業績

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/e71c5501935831524be4f262e56353b5.pdf>

14. 卒業者の教員免許状の取得状況に関すること

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/04/8202ea590244ae88fd8df63b28b94e96.pdf>

15. 卒業者の教員への就職の状況に関すること

<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/09/8b7b7bdb7cbe67138482494ff76d57ab.pdf>

16. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/kyouin_yousei04.pdf